

支援プログラムについて

1) 事業所理念

- ・こどもの遊びを通じて楽しく成長できるような場所を提供する。
- ・こどもと家族が笑顔で生活できるように、他機関・他職種との間で協力し合い支援していく。

2) 支援方針

- ・障害の特性や生活の実態に応じて、児の発達の促進、生活の質の向上、集団生活の適応ができるように適切な支援を行う。
- ・生活に沿った支援を継続的に提供し幼稚園や保育園、小学校と相互的に自立の促進を図る。
- ・安全で衛生的な環境を保持し、気持ちよく過ごせる場所を提供する。
- ・地域に根ざした身近な療育の場を目指す。

3) 営業時間

9:00～18:00(支援時間は9:30～13:00、14:00～17:30)

4) 送迎

14:00以降の学校へのお迎えのみ実施

5) 本人支援の内容と5領域の関連性

<5領域>

- ①生活: 健康状態の維持・改善や生活リズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を目指す
- ②運動感覚: 姿勢と運動・動作の向上、保有する感覚の総合的な活用ができるように
- ③認知行動: 認知の発達と行動の習慣、空間や時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指す
- ④言語: 言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力向上、コミュニケーション手段の選択と活用を目指す
- ⑤社会性: 他者との関わりの形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を目指す

<上記を踏まえての具体的な支援内容>

支援プログラム	生活	運動感覚	認知行動	言語	社会性
身辺動作自立に向けての取り組み	○				○
生活環境の設定(クッションの制作や椅子の設定)		○			○
登所時の片付けおよび帰りの準備	○				○
カードやICT機器等複数のコミュニケーション手段を用いての支援				○	
公園活動やサーキットでの運動活動		○			
各活動時にルールの設定および提示			○		○
参加者同士で遊ぶ活動を決める、ルールを決める時間の設定			○		○
スケジュールの提示	○		○		
制作活動		○	○		
自由時間の設定(自分の気持ちを表出する時間)				○	○
調理活動、外出活動	○	○	○	○	○
タイピングやプログラミング活動			○	○	○

6) 家族支援(きょうだいへの支援)の内容

ねらい: 愛着の安定、家族からの相談に対する適切な助言、障害の特性に配慮した家庭環境の設備

- ・ペアトレの実施
- ・保護者を対象とした勉強会
- ・保護者を対象としたコミュニティー運営

7) 移行支援の内容

・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備・放課後児童クラブ等と併行利用している場合 における併行利用先との連携実施

- ・同世代の子どもをはじめとした地域における仲間づくり

8) 地域支援・地域連携の内容

- ・通所する子どもに関わる地域や関係
- ・関係機関と連携した支援の実施

9) 職員の質の向上に資する取組

- ・新入職員研修
- ・法定研修(防災や虐待防止や身体拘束、感染対策、安全管理等に関する研修)
- ・ケース検討会や担当者会議等

10) 主な行事等

- ・花見
- ・夏のプール活動 ・夏祭り
- ・焚き火やBBQ ・買い物活動 等